



芸術の秋、
絵を
描いてみよう!

はぐ便り

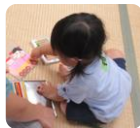
2025年
10月号
【第124号】

家庭教育研修会「はぐ講座①」開催しました!

9月16日(火)、講師に「親子ふれあい遊び あんさんぶる」の澤田章子先生をお迎えし、盛岡市家庭教育研修会「はぐ講座」親子でワクワク! 秋の果物狩り & おんがく遊び!」を開催しました。第1部は、体を動かしたり、歌ったりと盛りだくさんの「ふれあい遊び」で、親子の笑顔があふれる時間となりました。第2部の「子育ての困りごと相談会」では、参加者同士が悩みを共有し合い、澤田先生からはご自身の経験を交えた温かいアドバイスをいただきました。内容の一部をご紹介します。



澤田先生



＜第1部 ふれあい遊び＞

秋といえば、実りの季節! おいしい果物がたくさんとれるこの時期にちなんで、親子で様々な遊びを楽しみました。音楽に合わせて、親子でバスの運転ごっこをしたり、「くだもの列車」の歌を元気に歌ったりと、会場は笑顔でいっぱい。続いて、「秋のお出かけ列車カバン」づくりでは、子どもたちが思い思いにクレヨンで自分の顔を描き、世界に一つだけのカバンを完成させました。

そして最後は、りんご狩りごっこ! 盛岡市を代表する農産物でもあるりんごを、子どもたちは夢中になって収穫し、自分で作ったカバンに大事そうに入れていました。



＜第2部 子育ての困りごと相談会＞

「イヤイヤ期」が始まったのか、 服もスタイも嫌がります…

いわゆる「イヤイヤ期」という言葉は、子どもが「いや!」という気持ちを表すだけでなく、子どもとの関わりに悩む大人の「嫌だな…」という気持ちも反映されているような気がします。「イヤイヤ期=自分の気持ちが出てきておめでとう期」でもあるので、まずは、子どもがイヤイヤしていることを受け止めて、具体的な言葉で返してあげましょう。子どもは「自分の気持ちを分かってくれた」と感じ、安心感につながります。

3人育児の上手な こなし方を知りたい!

3人も育てている時点ですごい! とまずは自分で自分をほめましょう!

3人とも平等に関わらなければ…と思うあまり、「〇〇しなければならぬ」と思いがちですが、何かをしなくてはならないと考えるよりも、親である自分が自分らしくいられる時間を1日に1回でも2回でも持つことが大切かなと思います。



笑顔で接するようにはしていますが、子どもの笑顔が少ない気がします。 笑顔を引き出してあげたい!

まずは、どんなことが好きなのか? どんなことに興味があるのかな? というような遊びや体験を積み重ねていって、子どもの好きなこと、その子自身が笑顔になりそうなポイントを探ってみましょう!

参加者の感想

- ☐ 近い年齢のお友達との交流ができてとても良い時間でした。
- ☐ 子どもたちも楽しそうで、今後の育児に役立つ話も聞けたので、参加して良かった。
- ☐ 他のお母さんの質問も共有できて今後の参考になった。



ほら見てよ!
大きなお腹は
脱いだ服

あらあら

盛岡市家庭教育情報通信『はぐ便り』
2025年124号 令和7年10月17日発行
発行者・問合せ: 盛岡市教育委員会 生涯学習課
住所: 盛岡市津志田14-37-2 TEL: 019-639-9046
E-mail: edu.sgs@city.morioka.iwate.jp

